

平成 25 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社スパンクリートコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 飯 牟 礼 聡
 (J A S D A Q ・ コード 5 2 7 7)
 問合せ先 役職・氏名
 代表取締役専務 村 山 典 子
 電 話 0 3 - 5 6 8 9 - 6 3 1 1

平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間の 業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 15 日に公表した平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)の業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

記

平成 26 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値と決算における実績値との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

① 差異の内容

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,600	180	180	150	円 銭 19.46
実績値 (B)	1,914	314	339	230	29.92
増減額 (B-A)	314	134	159	80	—
増 減 率	19.6%	74.4%	88.3%	53.3%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	1,824	236	233	132	17.20

② 第 2 四半期累計期間の業績予想との差異の理由

主力のスパンクリート事業において、鉄道関連の需要が一時的に減少に向かうこと等により厳しい経営環境となることを見込んでおりましたが、その影響が想定を下回ったため、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は当初予想を上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、通期の各利益の業績予想が第 2 四半期までの累計を下回っておりますが、これは上述の鉄道関連の需要が下半期に減少に向かうこと等によりスパンクリート事業の売上数量は減少が見込まれ、不動産事業の賃貸ビル 4 棟の安定収益は見込まれるものの、結果として限定的な利益になることが予想されます。

従いまして、平成 25 年 5 月 15 日付にて公表いたしました通期業績予想の修正は行っておりません。修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本紙資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(参考)

平成 26 年 3 月期個別業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
通 期	2,600	100	110	50	円 銭 6.49

以 上